

島根県公共事業再評価 対応方針（案）

作成日 令和5年7月

番号	事業概要・事業主体等	事業の進捗状況	事業採択時の状況及び社会情勢の変化等	事業効果	環境への配慮 事業を中止した場合の影響	今後の県の方針案
	(事業概要) (事業主体の根拠)	(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) (進捗状況と今後の見込み)	(事業導入の経緯・目的) (事業を取り巻く社会情勢) (事業に対する地元情勢・計画の熟度)	(費用対効果) (コスト削減・代替案等) (その他の効果)	(生活環境・自然環境への影響) (事業を中止した場合の影響)	(継続・中止)
3	<p>(事業名・地区) 国道432号 東岩坂バイパス 社会資本整備総合交付金事業（改良）</p> <p>(事業位置) 松江市八雲町 東岩坂～日吉</p> <p>(事業費) 19,030,000千円</p> <p>(事業概要) 本事業は松江市八雲町東岩坂から日吉に至る8.6km区間を2車線道路で整備するものである。</p> <p>(事業主体の根拠) 道路法12条</p> <p>(再評価区分) 再評価実施後5年を経過している継続中の事業</p> <p>(担当部課名) 土木部道路建設課</p>	<p>(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) 事業採択年度：1979(S54)年度 用地着手年度：1979(S54)年度 工事着手年度：1980(S55)年度 完了予定年度：2033(R15)年度 経過年数：44年</p> <p>(進捗状況と今後の見込み) 進捗率(全体)：71% “(用地)：90% “(工事)：69% ※事業費ベース</p> <p>工事の進捗状況は、全体延長8.6kmのうち7.3kmを供用済み。(供用率85%)</p> <p>藤原地区(L=1.6km)は1994(H6)年度に、日吉～宮谷地区(L=3.6km)は、2006(H18)年度までに供用済み。 別所地区(L=3.4km)は、終点側(L=2.1km)が2016(H28)年度までに供用済みである。 現在、残る別所地区(1.3km)を測量設計中であり、早期工事着工に向け、事業を進めている。</p>	<p>(事業導入の経緯・目的) 本路線は、広島県竹原市から松江市に至る骨格幹線道路であり、山陰と山陽を結ぶ重要な路線で、地域住民の日常生活を支える道路である。 特に、松江市八雲町東岩坂から日吉に至る区間は、道路の幅員が狭く、線形も屈曲している。 本事業により、安全な通行の確保をするとともに、広域的な連携、都市圏の形成を図る。</p> <p>(事業を取り巻く社会情勢) 計画道路沿線の松江市八雲町地内は、松江市街地周辺のベッドタウンとして住宅開発が進む。 松江市八雲町から中心市街地へのアクセス向上、また、安来市広瀬町と松江市間の広範囲の利便性向上に資するものとして期待されている。</p> <p>(事業に対する地元情勢・計画の熟度) 国道432号(松江・安来間)改良促進期成同盟会から要望があり、早期の供用開始が期待されている。</p>	<p>(費用対効果) B/C=1.00</p> <p>(コスト削減・代替案等) ①事業規模の妥当性 道路構造令に基づき、地域区分と計画交通量から道路規格3種3級、設計速度30～50Km/h、車道幅員3.00m×2車線+路肩の全幅7.50m(一部9.75m)とし、沿道状況に応じて歩道を整備。 ②事業方法の妥当性 現道拡幅併用バイパス案を採用し、経済的なルートを採用した。 ③コスト削減への取組 地すべり区域への影響を避ける計画により、対策工事費を軽減。</p> <p>(その他の効果) 観光地(松江城、八重垣神社、足立美術館など)へのアクセス性向上</p>	<p>(生活環境・自然環境への影響) 環境配慮の取組状況 ・共通配慮事項 別添『取組シート』のとおり</p> <p>(事業を中止した場合の影響) 普通車もすれ違えない隘路区間が残れば、広域的な幹線道路としての役割が果たせず、また、沿道集落の生活道路としても安全で安心した通行が確保できず、事業効果が大幅に減少する。 第2次緊急輸送道路に指定されているが、車両の離合ができない狭隘区間が残り災害時の緊急輸送道路として機能が発揮できない。</p>	<p>(方針案) 継続</p> <p>(継続の理由) これまで、約8割以上の区間を供用済みで、引き続き整備を進めている。 現在も事業の必要性は変わっておらず、これまで改良した区間の効果発現のためにも、早期の全線改良を図る必要がある。</p>

国道432号 東岩坂バイパス

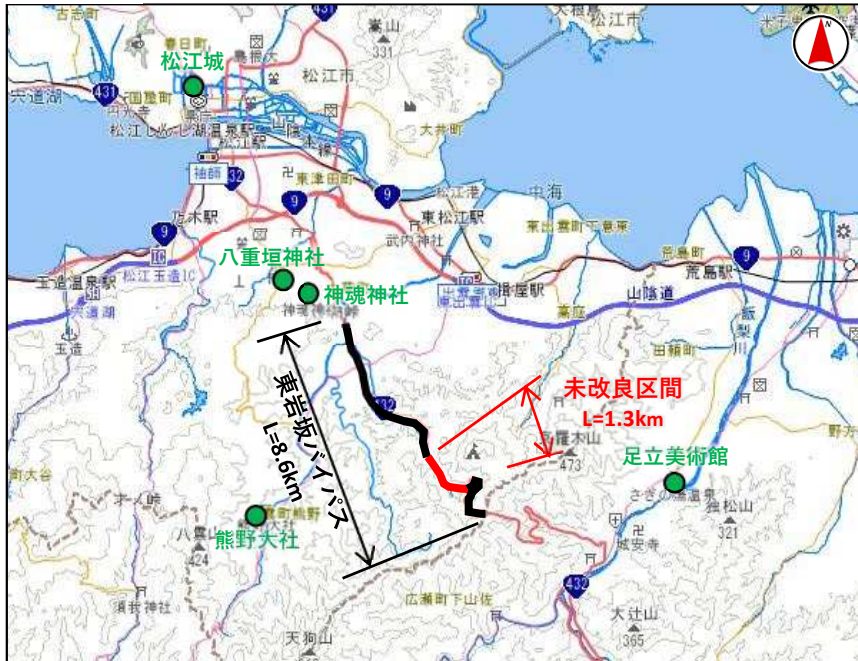
【路線の概要】

本路線は広島県竹原市から松江市雑賀町の国道9号へ至る骨格幹線道路であり、山陰と山陽を結ぶ重要な路線であるとともに、地域住民の日常生活を支える道路である。また、観光振興、救急医療及び防災面に関して極めて重要な路線である。

【事業の概要】

松江市八雲町東岩坂から日吉に至る本事業区間は、道路の幅員が狭く、線形も屈曲している。本事業によりバイパス整備をすることで、自動車交通の円滑で安全な通行の確保、広域的な幹線道路ネットワークのアクセス性向上、防災面の機能強化及び広域観光ルート形成を目的として整備を図る。

【位置図】



【整備効果】

1. 幹線道路ネットワークの整備

松江市～松江市八雲町～安来市広瀬町のアクセス性向上・連携強化

2. 事故、災害への対応強化

緊急輸送道路の確保

3. 広域観光ルート形成

観光地（松江城、八重垣神社、足立美術館 など）へのアクセス性向上

【平面図】



【状況写真】

